

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月20日

(あて先) 姫路市長

提出者

住所 姫路市網干区新在家1239

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

株式会社ダイセル姫路製造所網干工場

工場長 中石 将宏

電話番号

079-273-7061

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、6年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社ダイセル姫路製造所網干工場		
事業場の所在地	姫路市網干区新在家1239		
事業の種類	化学工業(1639)		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1858 t	全処理委託量	1858 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1858 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	192 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1664 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	137t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 特別な事由以外、電子マニフェストを使用する	前年度	1806t

※事務処理欄

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 廃油)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 1,417

項目	実績値
① 排出量	1,417
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	1,417
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,417
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	69
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,348

自ら直接再生利用した量
② 0

自ら直接埋立処分した量
③ 0

自ら中間処理した量
④ 0

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 0

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 1,417

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 1,417

直接中間処理委託量
⑬ 1,417

直接最終処分委託量
⑭ 0

直接委託中間処理後の残さ量
⑮ 1,347

直接委託中間処理後の最終処分量
⑯ 0

委託中間処理後の再生利用量(⑮-⑯)：
1,347

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 69

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 1,348

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 69

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 1,348

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 69

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 1,348

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 69

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 1,348

(第2面)

備考 1) ⑯～⑰は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。
3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

2) の部分に入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑬+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑬+⑰)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正

(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 廃酸)

不要物等発生量

(単位:t)

有 償 物 量

排 出 量

① 4

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接
埋立処分した量

③ 0

自ら
中間処理した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理
により減量した量

⑦ 0

⑩のうち
再生利用業者への
処理委託量

⑫ 0

⑩のうち
熱回収認定業者への
処理委託量

⑬ 0

⑩のうち
熱回収を行う業者への
処理委託量

⑭ 4

項目	実績値
① 排出量	4
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	4
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	4
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4

直接
中間処理委託量

⑩ 4

直接委託
中間処理後の残さ量

⑩ 2

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 4

直接
最終処分委託量

⑩ 0

直接委託中間処理後
の最終処分量

⑩ 0

委託中間処理後の再生利用量(⑬-⑭)：

2

(第2画)

備考 1) ⑯～⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。
3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

2) の部分に入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑬+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑬+⑰)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正

(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：

廃アルカリ

)

不要物等発生量

(単位:t)

有償物量

排出量

①52

項目	実績値
① 排出量	52
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	52
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	52
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	52
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

② 自ら直接再生利用した量0

③ 自ら直接埋立処分した量0

④ 自ら中間処理した量0

④のうち熱回収を行った量0

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量0

⑦ 自ら中間処理により減量した量0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量52

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量52

⑫ 再生利用業者への処理委託量0

⑬ 熱回収認定業者への処理委託量52

⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量0

⑮ 委託中間処理後の再生利用量(⑬-⑭): 52

自社処理を行わずに直接委託処理した量(⑬+⑭)

⑬ 直接中間処理委託量52

⑭ 直接委託中間処理後の残さ量52

⑮ 直接委託中間処理後の最終処分量0

⑯ 直接最終処分委託量0

備考 1) ⑬～⑯は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) の部分に入力してください。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑬+⑯)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑬+⑯)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： PCB汚染物)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

7

自ら直接再生利用した量

②

0

自ら直接埋立処分した量

③

0

自ら中間処理した量
④
0

自ら中間処理した後の残さ量
⑥
0

④のうち熱回収を行った量
⑤
0

自ら中間処理により減量した量
⑦
0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨

0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫

0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

7

⑩のうち熱回収を行う業者以外の処理委託量

⑭

0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩

7

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪

7

直接中間処理委託量

⑩

7

直接委託中間処理後の残さ量

⑩

0

直接委託中間処理後の最終処分量

⑩

0

直接最終処分委託量

⑩

0

委託中間処理後の再生利用量(⑩-⑩)：

0

項目	実績値
① 排出量	7
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	7
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	7
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	7
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2画)

備考 1) ⑯～⑰は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。
3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

2) の部分に入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑬+⑰)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑬+⑰)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときには、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。